

 <p>Keio University 1858 CALAMVS GLADIO FORTIOR</p>	<p>慶應義塾 調布三田会会報</p>	<p>調布三田会 発行人 岸野千賀子 ckishino1225@gmail.com ホームページアドレス http://chofu-mitakai.com/</p>
--	-------------------------	--

第 32 回調布三田会総会

調布三田会第 33 回定時総会が、5 月 13 日(日)15 時より調布市文化会館たづくり 12 階大会議室で開かれた。慶應義塾駒村圭吾常任理事はじめ、調布稲門会、近隣三田会からのご来賓 11 名をお迎えし、会員、ゲスト含め 97 名が参加した。

第 1 部定時総会は塾歌斉唱と、昨年度亡くなられた 4 名の会員への黙とうで始まった。河村会長(40 法)の挨拶では、2 年間で振り返り調布三田会初の女性会長の就任を報告した。ご来賓を代表して、駒村常任理事からご自身の調布との縁の紹介や塾の近況報告、調布稲門会岡田会長からご祝辞を頂いた。

議事に入り、議長に関利治君(38 経)を選出。河村会長から平成 29 年度活動報告、有賀治雄君(44 商)から決算報告、大塚宏君(37 経)から監査報告、同様に平成 30 年度活動計画、収支計画が審議され、承認された。平成 30 年度幹事改選・役員選任として、10 名の退任・新任が承認され、新会長岸野千賀子君(51 文)と新幹事長田辺一男君(55 法)の挨拶で第 1 部が終了した。

第 2 部は、「情報が貴方の命と暮らしを守る」と題して、元 NHK キャスターの今井義典氏にご講演頂いた。大学時代からの友人として平井顕彦君(43 文)が講演者紹介を担当した(要旨は次ページ掲載)。

第 3 部懇親会は、川端弘子君(56KP)の司会、岸野新会長の乾杯で始まり、選任された新任幹事一同が挨拶。慶應義塾塾員センター小島部長、ご来賓、入会プロジェクトで招待されたゲスト 3 名も含め、各テーブルに分かれて歓談した。お楽しみ福引タイムでは、堀尾明君(54 政)と米持一夫君(55 経)はじめ若手メンバーが進行。提供いただいた塾グッズや鉢植えなど 40 本ほどの景品が抽選され、同じテーブルのメンバーが当選すると皆で祝福するなど盛り上がった。1 等賞の高機能ヘルスマーターは岸野会長がくじを引き、磯村富弘君(36 経)が当選した。

高瀬一郎君(53 商)のリード、腰原武人君(H2 法)の

トランペットで、「慶應讃歌」と「若き血」を皆で斉唱。柳谷一郎君(55 法)の中締めでお開きとなった。



<会長就任挨拶> 岸野千賀子(51 文)

調布三田会は、様々な行事や同好会活動を通じて会員・家族の親睦・交流を図るとともに、地域社会の発展にも寄与してきました。これらの行事や同好会には、これまで沢山の会員が参加し、会を盛り上げてくれました。皆様方には引き続き積極的な参加をお願いします。

同時に、引き続き検討すべき課題もあります。①ホームページの活用の周知徹底、②通信費の節減に繋がる通信手段の電子化、③会員名簿の形態等がそれです。IT 技術の急速な発展を受け、会員の利便性を高めると同時に、事務の簡素化を図る方策について、皆様の知恵も借りながら、検討を進めたいと思います。



今回思いもよらず会長の重責を拝命することになりましたが、会員の皆様一人一人が、「参加して良かった」と思える、楽しい会にしていきたいと考えています。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いします。

総会第二部 講演会
「情報が貴方の命と暮らしを守る」

今年の総会の講演は、元 NHK 副会長の今井義典さん(43 経)にお願いしました。

今井さんは昭和 43 年に NHK に入局。テレビジャーナリストへの道は、「ローマの休日」のグレゴリー・ペックに魅せられたことやケネディ大統領の暗殺の報道に触れたことなどから決めたとのことでした。

鮮明に思い出すのは、1979 年 3 月 28 日アメリカ・スリーマイル島での放射能事故。翌日から現場近くで張り付いて取材。深刻な事故だったけれど放射能漏れはないという現場だったそうです。渾身のレポートを衛星中継で「ニュースセンター9 時」に送ったけれど、何と一度も自分では見たことがない！ということです。

また、1997 年 8 月 31 日のダイアナ妃の悲劇も衝撃的な事件でした。当初は東京の NHK 側も重大視しておらず、ニュースの割り当て時間も少なかったそうですが、日々増えていく花束の量に比例して放送枠も長くなり、結局、ニュース全体がダイアナ妃の葬儀の模様になったという裏話もご披露いただきました。ダイアナ妃は日本でも人気があったこともあり、ニュースの注目度は高かったと思います。

NHK の公共放送としての大きな役割の一つに、災害の報道があります。東日本大震災の際には発生 2 分後から特別番組が開始され、15 時には仙台空港から取材ヘリが発進していたそうです。それ以降、皆さんの記憶にもあると思いますが、震災報道特別番組がずっと放送されていました。未曾有の自然災害に日本中が

沈滞し悲壮感に溢れた時期でした。その後の熊本での地震災害がありましたが、東日本大震災での教訓から、アナウンサーも強い言葉で避難を呼びかけるように変化しているのは皆さんもご存じのことと思います。

最後に、話題の有働由美子アナウンサーとのエピソードにも触れられました。1994 年 4 月からスタートした「おはよう日本」のキャスターへの抜擢の様子や(VTR オーディションがあるとは!)NHK を退社するご相談を受けていた、など、親交の様子をお話しいただきました。

短い時間でしたが、NHK での今井さんのご活躍や報道への姿勢、また、楽しいエピソードなど、笑いも交えた有意義な講演をしていただき、感謝いたします。



<新幹事長就任挨拶> 田辺一男(55 法)

不慣れな幹事長のため、果たして自分に務まるのかと心配しながらのスタートでありました。

ところが、さすが調布三田会の皆さま、数多くの暖かいサポートを頂戴しております。様々なイベント、同好会活動が更に充実して「ぜひまた参加したい」と思える会にしたいと思っております。

若輩者ですが全力で頑張っ てまいりますので、今後とも よろしくお願い申し上げます。



新任幹事

- | | |
|------------|------------|
| 萩原信子(47 文) | 鈴木敬一(52 経) |
| 黒柳裕士(55 商) | 廣井裕司(55 工) |
| 岩東清茂(56 商) | 秋山実(61 理工) |
| 関尚雄(61 経) | 勇野英三(62 政) |
| 鈴木緑(H4 政) | 平本恵(H9 文) |

退任幹事

- | | |
|------------|-------------|
| 大塚宏(37 経) | 野尻栄一(38 法) |
| 橋本定明(37 工) | 柴田精一(38 経) |
| 関利治(38 経) | 平井通隆(40 経) |
| 片岡信子(45 文) | 小倉基義(48 経) |
| 古川義朗(50 法) | 佐々木盛二(51 工) |

新年会

新春マジックで賑々しく開催

2月3日(土)、17時からクレストンホテル8階宴会場において、調布三田会新年会を開催しました。今年インフルエンザの大流行のために直前に欠席者が出る中、ゲスト2名を含む82名が参加しました。タキシード姿の飯島正行君(H3 理工)の司会により、まず河村会長が挨拶。会員アンケートを踏まえてホームページと電子メールによる連絡を充実していく方針を示しました。

今年の出し物は、「クラウンじんごろう」さんをお招きしての新春マジックでした。道化師姿でジャグリングやバルーンを使った見事なパフォーマンスに加えて、軽妙なトークで笑いを誘っていました。その後、新入会員の紹介があり、廣井裕司君(55 工)、岩東清茂君(56 商)、飯野徹君(H7 理)、岡崎陽一君(H26 経)、大谷内(おおよち)勇樹君(H29 文)の5名が挨拶しました。

続いて還暦を迎えた米持一夫君(55 経)の発声で乾杯すると、料理をいただきながら話が弾み、正月の箱根駅伝で慶大生としては12年ぶりに出場を果たした経済学部3年の根岸祐太君が8区を力走した話題で盛り上がりました。

最後は全員で肩を組んで輪になり、高瀬一郎君(53 商)のエールで恒例の「若き血」を合唱して締めくくりました。閉会後も名残惜しく、多くのメンバーが二次会へと流れて行きました。



去年卒業したばかりということで、新年会が初の参加となりました。マジックショーではご指名をいただきステージにて私も参加いたしまして、突然で驚きましたが楽しい思い出となりました。皆様にお顔を覚えていただけていたら幸いです。これからも先輩方との繋がりを大事にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 大谷内勇樹(H29 文)

観桜会

満開の樹の下に車座でほろ酔い

4月1日(日)、好天の神代植物園にて、23名の参加を得て、恒例の観桜会を開催しました。担当幹事の皆さんが早くからシートやビールの準備と場所取りをして頂いたお蔭で、満開の桜の真下、お琴の演奏も間近に聴こえるベストポジションを確保。皆さんそれぞれに手作りの料理やおつまみを持ち寄り、日本酒、焼酎、ワインは飲みきれないほど。シートに車座となって、花も団子もと、延々3時間余り大いに盛り上がりました。

解散後も深大寺そばを食べに行くグループ、さらにはカラオケに繰り出すメンバーもいて、たっぷりと楽しんだ春の一日でした。



螢を見る会

稲門会、三鷹三田会からの参加も得て

今年は、稲門会や近隣の三田会にも声を掛け、螢の会を開催しました。三鷹三田会から参加いただいた高山さんに寄稿頂きました。

* * *

深大寺の螢の会にそば打ちの会のご縁で参加させていただきました。5月22日(火)の夕暮れ5時、深大寺の山門前のそばや「門前」に調布三田会他12人が集まり、お料理、そば、お酒を楽しみつつ、河村会長より「螢を復活させる会」の苦節十数年の歴史を伺いました。お酒にも心を残しつつ、暗さも増す中、本日の本題、螢の時間となりました。まだ今年は蒸し暑さが足りなく、期待できないとの話もありましたが、「螢のせせらぎ」に皆で暗闇の中向かいました。いきました！いきました！螢の乱舞です。きらっと光る度に一同大喜びのひとときでした。 三鷹三田会 高山温子

新入会員歓迎会

3月24日(土)17時半より「CAFE BUNS」にて同好会世話人及び幹事有志によるこの1年の新入会員歓迎会が行われた。受付、司会は前年度会員になられた勇野英三君(62 政)、関尚雄君(61 経)、今橋久君(33 経)が担当。新入会員は、6名しか参加出来ず残念ではあったが3倍近い幹事の間に挟まれ、賑やかな懇親会となった。自己紹介、世話人による同好会説明。持ち時間3分と決められベルが鳴るといふ軽妙な進行にも拘わらず、話の尽きがたい経歴紹介も。アメリカ生活23年、グアム島の日本人第一番目の名誉市民になったという

人、フェンシングをやっていた人、秋の音楽会が縁で入った人達それぞれこれからの三田会での活躍が期待される方ばかり。自己紹介の会社の縁で、先輩後輩の知り合いがあることが分かったり、盛り上がりの内にお開きとなった。



29年1月～30年5月の新入会員紹介(入会順) 氏名(卒年学部)、①趣味②同好会③自己アピール

◇辛島正穂(H3 政)②現役世代の会、FC 東京ファンクラブ、ゴルフ同好会 ③FC 東京の応援をしています。宜しくお願いします。

◇上野尚文(H16 法)①お酒、ラーメン、プロレス観戦 ②現役世代の会、ローカルクラブ、グルメの会 ③三年前に仙川に引っ越してきた新参者でございます。新たに地元となった調布で、諸先輩方と交流を深めていきたいと存じます。

◇植木和彦(50 政)①歩くこと、英語(通訳案内士)、囲碁 ②ハイキング同好会 ③第二の人生、あれこれ手を出し過ぎパンク状態です。当面はハイキング同好会一本で頑張ります！

◇荒木葉子(57 医)①コーラス、美術鑑賞、旅行 ②音楽同好会 ③少子高齢化の進む自分の住まう町に、自分が何を望み、何ができるか考え、行動したいと思っています。

◇田中 環(63 文)②ランニング、ハイキング、音楽 ③昨年11月に京王駅伝にメンバーで参加しました。野川公園周辺でゆるラン楽しんでます。

◇岡崎陽一(H26 経)②現役世代の会、ボウリング同好会、ランニング同好会 ③先輩方に、勢いや熱量で負けないうよう頑張ります！

◇鶴賀政行(38 文)①音楽鑑賞、釣り ③米国滞在23年間、話をすることは得意と思います。

◇島田 寛(48 法)①②カラオケ ③カラオケが好きなくらいで他に特にありませんが、交流会などにはなるべく顔を出すようにしています。

◇林田信義(56 経)①ゴルフ ③第二の人生、会員の皆様との交流で充実できるよう頑張りたい所存でございます。よろしくお願ひします。

◇大谷内勇樹(H29 文)①ダンス、映画鑑賞 ③去年卒業したばかりで、調布三田会が初めて参加する三田会となります。よろしくお願ひいたします。

◇吉峯公一(47 法)①Lone Riders メンバー ③昨年10月の調布三田会会合でカントリー音楽を演奏する機会をいただきました。音楽、大好きです。

◇田口哲夫(50 法)

◇大西 豊(61 経)①JAZZ の SAX 演奏、オペラ鑑賞 ②現役世代の会

◇飯野 徹(H7 理工)①ウォーキング・パソコン・DIY、②現役世代の会 ③調布生まれ、志木高出身、IT関連の仕事に従事。血液型はO型で性格はマイペース。

◇廣井裕司(55 工)②現役世代の会 ③4月より社会福祉法人に総務管理職として転職しました。現役の会以外ではテニスにも興味あります。

◇岩東清茂(56 商)①シュノーケリング、下手なゴルフ ②カラオケ、ハイキング ③調布に住み25年、名前を呼ばれるのは床屋のマスターだけ。入会のお誘い心に刺さりました。

◇小林知也(H9 経)①②スポーツ観戦(FC 東京)、食べ歩き、スポーツ(テニス)

◇水野哲夫(53 文)①音楽、スケッチ ②歌の同好会 ③学生時代から好きで弾いていたギター、励んでいます。「昭和歌謡」の伴奏をするのが得意です。

通信プロジェクト紹介

本年の新年会の案内の際、今後の行事における連絡方法のアンケートにご協力頂き、有難うございました。

頂いた回答の内、約半数の 117 名の方が、今後の行事の案内とその回答をメールとホームページの活用で行うことに賛同してくれました。現在その方たちのメールアドレスの確認作業がほぼ終了しつつあります。

会員の皆様への連絡を電子媒体によって行う方式にするには、未だ解決すべき問題も多々残っていますが、経費節減と紙資源の節約のため、一歩ずつ前に進めていきたいと思っています。

本年のサマーパーティーの出欠確認から、順次メール又はホームページ方式に移行し始めています。まだまだ不備な点も多いと思いますが、試行錯誤しながらより便利で効率的な方法を追求していきたいと考えています。会員の皆様の更なるご協力をよろしくお願いたします。

会長 岸野千賀子

【活用方法】

ホームページ(HP)の URL : <http://chofu-mitakai.com/>

(1) 各会員のユーザ名、メールアドレス、仮パスワードは幹事が登録します。

ユーザ名：卒業年次＋姓(ローマ字)(例 55yanagiya)

同年次同姓の方がいらっしゃる場合は姓のあとに原則名前の頭文字がつけます。平成卒業の年次は「h」が前につき二桁です。(例 h05mita)。家族会員の方は年次の代わりに「FM」をつけてください。(例 FMyanagiya)

メールアドレス：調布三田会に届けてあるアドレスを登録させていただきました。

パスワード：「mitakai」(半角・小文字)→仮パスワードなので各自で変更が可能です。

登録されると各自にパスワードを記入したメールが送付されます。

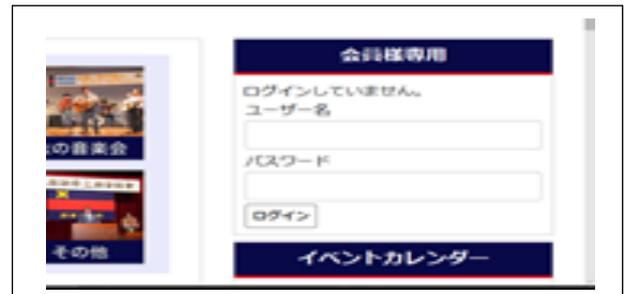
(2) 公式行事のご案内のメールは通信プロジェクト担当幹事より発信されます。

(3) メールを受け取りましたらホームページを開けて情報を確認してください。

(4) 行事の出欠の登録や会員専用のページを見るためには「ログイン」が必要です。

(5) ログイン方法

会員様専用の欄に「ユーザ名」「パスワード」を入力して「ログイン」してください。



ユーザ名：年次＋姓 (例 55yanagiya)

パスワード：mitakai

「ログイン」をクリックする

(6) 出欠の登録

出欠の登録が必要なイベントを開くと下に「予約はこちら」の欄があります。

チケットの種類(出席、欠席、未定)の該当する枚数欄に「1」または同伴者がいる場合は「2」を入力して「予約」ボタンを1回だけ押してください。翌日までは出欠の確認として予約お礼のメールを送付させていただきます。金額については明示されておりますが、支払い登録はしていませんので、まったくご心配いりません。お支払いについて当日に集金します。何か表示されても無視してください。

予約はこちら

チケット	価格	枚数
出席	¥4,000	<input type="text" value="0"/>
欠席	¥0	<input type="text" value="0"/>
未定	¥0	<input type="text" value="0"/>

予約完了してもボタンは消えません。1回だけ押してください。

対応するチケット(出席または欠席等)の枚数欄に「1」(同伴者がいる場合は「2」)を入力する

「予約」ボタンをクリックする。通常何も応答がありませんのでそのままログアウトして結構です。

(7) アドレスの変更、パスワードの失念など

アドレスの変更やパスワードがわからなくなった、間違って入力してしまった等については「ホームページ」の問い合わせを使うか、ホームページ担当の柳谷(やなぎや)(55 法, iyanagiya@nifty.com)までご連絡ください。

ローカルクラブ

世話人：寺川毅 terako-butti@jcom.zaq.ne.jp

＜新緑の真鶴岬と小田原城址を訪ねる旅＞

6月16日(土)東京駅集合。東海道線熱海行きに乗車、川崎・小田原からの途中乗車組も加え、最終参加人員は23名の大所帯。真鶴駅前からバスに乗り継ぎ、午前11時過ぎ予定通り中川一政美術館到着。参加者の日頃の行いが良いせいか、梅雨のさなかにも拘わらず傘は不要。小ぶりだが落ち着いた雰囲気的美術館鑑賞を楽しみ、正午過ぎ真鶴漁港前にあるイタリアンレストラン「ホノホノ」に移動。新鮮な魚貝中心の美味しい料理と貸切で居心地も良く、ワインも進んで全員ご機嫌のランチ。経営者は若いご夫妻だが、サーブ役の奥様は藤沢・環境情報学部卒の塾員。思いがけないご縁に宴は益々の盛り上がり。

食後は真鶴駅より小田原へ移動。帰りの電車まで時間がたっぷりあり、小田原城址公園を訪ねる。堀跡の菖蒲とお堀の土手のアジサイが折しも真っ盛り。思いがけない眼福に心が安らぐ食後の一時だった。帰りは小田急のロマンスカーを利用、各々最寄り駅で下車、自由解散。梅雨の合間に新緑や季節の風情を堪能した大人の遠足でした。 寺川毅(41 経)



＜中川一政美術館を見て＞

この日は彼の得意とする薔薇の絵を集中的に展示していましたが、特徴的なのは薔薇をいけた花瓶に必ず人物の顔が描かれていたこと。一政の絵のオリジナルかと感心したのですが、実は「マジョルカ島特産の花び」の特徴だそうで一寸失望。個人的には一政の絵よりも併設展示されていた彼の書に惹かれました。昔、ある書家から「書は白地に黒をどうレイアウトし、その白と黒のバランスが重要だ」と聞かされたことが有り、まさにその通りの一政の書の素晴らしさに感動した次第。素敵な美術館でした。 平井顯彦(43 文)

ハイキング同好会

世話人：堀尾明 andy-horio-4809@outlook.jp

＜ウォーキング＞

好天に恵まれた3月11日(日)、今年初めての春のウォーキングが開催され、約20名の方に参加頂きました。今回は多磨霊園駅から、府中、稲城、調布迄、10キロの道程を4時間で踏破するというもの。平地でもあり楽勝と思いきや、途中城山公園という難所が立ちはだかり、楽なコースに回避された方、傍らの温泉施設に避難された方もおられたそうですが、最後は多摩川沿いをゴール迄歩き通し、無事にゴール！アフターは調布の土風炉にてお疲れ様会。よく歩いた後のお酒は格別で、大いに盛り上がりました。 大久保茂治(H02 経)



＜ハイキング＞

4月29日(日)高尾駅集合。総勢13名。最長老は37歳の西村さん。まずはバスで小仏へ。初参加の私は、バス停からのなだらかな1km弱を鼻歌まじりに。しかし、登山道に入ると突然の急坂、会話も途絶えがち。約100分で景信山頂の茶屋へ。メンバーは健脚にして酒豪揃い。山菜の天ぷらをつまみに一杯。この日は好天に恵まれ、富士を仰ぎつつ下山。途中移動式の店でチョット一杯。更に駅近くのレストランで締め一杯。18時解散。さすが陸の王者「調布三田会」、全員無事生還。 佐々木仁(44 経)



現役世代の会

世話人：米持一夫 yone314@jcom.home.ne.jp

<2月24日(土) 国領にて>

第15回現役世代の会(ランチ会)は、2月24日(土)に国領の「こな屋」という隠れ家のようなレストランで開催された。河村会長に紹介していただいた素敵なお店で、国領のイトーヨーカドーの近く、こんなところにお店があるの?と不安になりながらやっと17名が到着!!土曜は貸し切りで友人宅のリビングにいるようなリラックスした雰囲気の中、野菜一杯の大きな餃子などの家庭料理に舌づつみを打ち親睦を深めた。

H26年卒岡崎君、H29年卒大谷内君の参加でグリーンと若返った現役世代!自称現役の方大歓迎です。幹事不手際で当日の集合写真を撮り忘れしました。ご参加の皆様ごめんなさい m(_)_m 高安佳代子(60KP)

<5月27日(日) 調布駅北口にて>

第16回を数えた『現役世代の会』の昼食会が、調布駅北口のイタリアンレストラン・ウノセツで開催されました。岸野会長・河村前会長を交え総勢15名の参加者でした。慶應野球部が2期連続優勝が決まった直後で大いに体育会イベントの昔話に花が咲きました。次回は9月に決まりましたので、懇談・雑談で盛り上がりた方は千客万来ですので、ご参加ください。ぜひまずお会いしましょう。さっぱりとした先輩も多いので若い方もぜひご参集ください。 廣井裕司(55工)



<1月28日(日)第62回調布市民駅伝>

現役世代の会有志で2チーム参加・完走しました。
【40歳以上の部(4km×5) 1時間41分07秒】米持(55経),飯島(H3理工),日座さん(塾員),込山(60理工),池田(59文)。【ミックスの部(3km×5) 1時間26分29秒】上村(H11文),疋田さん,秋山(61理工),及川さん,堀尾(54法)。

F C 東京ファンクラブ

世話人：柳谷一郎 iyanagiya@nifty.com

<リーグ初優勝を目指して>

サッカーJ1リーグのFC東京は今年で創設20周年を迎えます。当三田会では2009年からファンクラブを立ち上げ、調布・味の素スタジアムをホームとする地元チームとして応援してきています。

今シーズンのリーグ戦は15節が終わり、8勝3敗4分けの勝ち点28の第2位です(6月末現在)。昨年は9位と悔しい結果でしたが、今年は長谷川新監督の下、初めてのリーグ優勝に向かって首位広島を勝ち点差9で追っています。逆転には皆さんの応援が必要です。

ロシア・ワールドカップには塾の出身で元FC東京の武藤嘉紀選手も選ばれ、ポーランド戦では惜しいシュートがありました。今のチームには日本中が注目している若手の久保建英選手もいますし、調布市出身の平川怜選手にも活躍が期待されます。

せっかくこんなに近くに立派なスタジアムがあるので、好きな選手を見つけて一緒に応援して盛り上がりましょう。年間シートのメンバーもいてどの試合も誰かが観戦しているので、いつでもどうぞ。

ランニング同好会

世話人：米持一夫 yone314@jcom.home.ne.jp

<新しい同好会スタート、会員募集中>

調布三田会の新しい同好会としてスタートしました。2015年に「現役世代の会」有志にて駅伝への参加機運が盛り上がり、合同練習を経て同年の京王駅伝に初参加、その後も継続的に駅伝に参加してきましたが、今般正式に独立しました。

発足時のメンバーは河村監督(40法)をはじめ16名、他にこれまで一緒に駅伝を走った奥さまランナーの皆様なども参加いただけます。

11月17日の京王駅伝、1月の調布市民駅伝への参加をはじめ、合同練習会やメンバーの参加する大会や練習状況等の情報交換を行います。

一緒に走ることでの交流、そして走った後の爽快感と懇親を楽しみましょう。

健康づくりや走ることに興味を持っている方、応援と交流会だけに参加の方も歓迎です。世話人までご連絡ください。

ボウリング同好会

世話人代理：池田勝彦 katsuhiko.ikeda@gmail.com

6月9日(土) 15時より例会が行われました。今回の参加者は6人、少数精鋭?の大会となりました。各自個性的な投球と手に汗握るゲーム展開に試合はあっという間に接戦の末、高得点?で終わりました。当会の楽しさは、紳士、淑女の集まりであり、ゲームに興奮しつつも穏やかな雰囲気なのが何よりです。好投球も悪投球も楽しむ。華麗なフォームの方もいれば、力わざの方もいます。兎に角楽しみ、お互いの健闘を讃え合う。試合終了後はいつもの通り懇親会です。ボウリングは一見単純に見えますが、体調やボールの重さやレーンの状態等によってボールの行方が変わります。特に精神状態については、ストライクの後またストライクを狙う野望に動揺しガターとなるリスクに立ち向かわなければなりません。奥の深さに楽しみも倍増です。ボウリング、メンバー、懇親会、幹事すべてよし。スカッとさわやかな同好会です。 石橋満(52商)



カラオケクラブ

世話人：鈴木薫 kaorusuzuki@moon.cims.jp

27回目の開催となりました伝統の「カラオケクラブ」は、調布駅北口の「コートダジュール・ブラックパーティールーム」にて、3月17日(土)16時より行われました。今回は初参加者3名を含め14名の会となりましたが、一巡目はお互いの遠慮こそあったものの、二巡目以降は雰囲気もぐっと盛り上がり皆さん思いのこもった歌声を披露しました。大いに盛り上がった会は当初予定の3時間では収まらず、前回同様に延長戦に突入、それを見越していた幹事の好プレーのおかげで会場は問題なく1時間追加でき、最後は恒例の「昴」を肩組み大合唱しました。好きな歌を心のままに楽しく歌うことが、聞いているものの心をワクワクさせるということであらためて実感した楽しい会でした。

岩東清茂(56商)



人物紹介 —荒木葉子(57医)—

1982年慶應義塾大学医学部卒です。血液内科を専攻し、University California San Franciscoに基礎研究のため2年間留学。帰国後は、糖尿病外来と産業医を主たる業務として行っています。



当時はまだ女性医師が少なく、育児介護休業法もない中で、仕事と家庭の両立は大変でした。留学先の教授は女性で、研究室には各国から女性研究者が来ていました。赤ちゃんと一緒に実験しているのを見て、こんな風にキャリアを続けられるといいなあと思いました。

帰国後は、働く女性と健康をテーマにいろいろ活動してきました。東京都や調布市の男女共同参画委員会メンバーだったこともあり、最近では、経済産業省の「健康経営における女性の健康」調査にも関わっています。

ひょんなことで、元NHKアナウンサーだった青木裕子

さんの朗読ワークショップに参加し、声を出すことの快感に目覚め、中高でやっていたコーラスを再開しました。残間里江子さんが主宰するWillbe混声合唱団にも入っていますが、4月14日に3回目のコンサートをサントリーホール、ブルーローズで無事終了いたしました。テーマ曲の「ケ・セラ・セラ」「君をのせて」「別れの曲」など。今陽子さん、2VOICEさんがゲスト出演してくださいました。去年は、別の合唱団でカルミナ・ブラーナを楽友協会で、西本智美さん率いるイルミナート合唱団で戴冠ミサ曲、モーツァルトのレクイエムなどを聖ピエトロ大聖堂で歌ってきました。今年もヴェルディのレクイエムなどを歌う予定です。

本会に参加しようと思ったのは、そろそろ地域デビューを、と思ったからです。20年も住んでいるのに自宅と駅の間しか知らず、地域包括医療に関しても無知なままなので、医療でも朗読や歌でも、何か貢献できればと思っています。 荒木葉子(57医)

蕎麦打ち同好会

世話人：石黒良昭 brack-stone@jcom.home.ne.jp

当会は会員 25 名、毎月 1 回第 3 水曜日にたづくり調理実習室にて例会を行っています。発足以来回を重ね 5 月に第 93 回目となりました。たづくりより借用の道具をセットし各自順番にそばを打ちます。指導は石黒、アシスタントは杉並兼三鷹三田会の板倉君(40 商)が務めます。使用するそば粉は、益子産常陸秋そば、石臼挽きの挽きたてで香り味共に絶品です。約 5 人前の二八蕎麦を打ちお土産に持ち帰ります。十割蕎麦や変わり蕎麦に挑戦する会員もいます。全員打ち終わった後蕎麦の試食兼懇親会です。ビールで乾杯、参加者持ち寄りのつまみとワイン、日本酒なども入り会話が弾みます。試食はその日の希望者が打った蕎麦を皆で評価しながら味わいます。現在女性会員も 6 名おりますし、初心者や懇親会からの参加も歓迎です。

例会以外に好評なのは年 1 回三鷹市の児童養護施設朝陽学園でそば打ちボランティアを実施している事です。昨年 10 月に第 3 回目を実施、調布三田会から 8 名、三鷹及び杉並三田会も含め 17 名が参加しました。前日に有志で約 70 人前のそばを打ち、当日は朝から道具や食材を持ち込み、2 フロアーに分かれてそば打ち体験会です。幼児から高校生まで 50 名の子供達が参加し、前日持ち込んだ蕎麦と当日皆で打った蕎麦、学園の調理師さん協力のかき揚げで食事をして頂きました。毎年感じるのですが、子供達が美味しい、美味しいと、言いながら何杯もお代わりしてくれる姿に接し、参加者一同が逆に元気を頂き、また来年も頑張らねばと心を新たにします。



後日園長より寄せられた子供達の感想を紹介します。

*そばうち おもしろかったです。(年中男児)

*こねこねしてたから ねんどっぽいて おもいました。(年長男児)

*そばをまぜるところから作るのが、すごかったです。おいしかったです。ありがとうございます。(小 2 男子)

*手うちそば 作っていただきありがとうございます。切ってはいないけど、ゆでるのはやりました。やりかたが分かって、いっぽ大人にちかづいたきがしました。人の字にまわすとか、こつがわかり作ってみたくなりました。次もまたきてほしいです。(小 5 男子)

*まい年おいしいそばをうちにきてくれて ありがとうございます。ほそいめんと太いめんのあじが違ったのにびっくりしました。また来年きてください。(小 6 男子)

そば打ちボランティアがきっかけで、お孫さんが使った玩具や本を寄付したり、子供の遊び相手に伺ったり、個人的に学園に協力する会員もいます。調布、三鷹、杉並三田会会員相互のコミュニケーションが深まっている事も心強い限りです。皆様のご協力に感謝いたします。

丘の上句会

世話人：寺川徳子 nontera-cleo@jcom.zaq.ne.jp

世間は俳句人口が増えているにも拘わらず、丘の上句会は長年一緒に楽しんで来た方が一人減りまた一人。しかし新たに参加された方もありホッとしているところ。

毎月の句会は奇数月は幹事会のある月末の土曜か日曜、偶数月は第 4 週の木曜日。13 時から「たづくり」会議室にて行っている。句会后ささやかに喉を潤してお喋りも全員参加とは行かず、暮れの忘年会が唯一ゆっくり懇親を深める時。時には吟行句会をしたい。新人会員大歓迎！頭を使いお喋りをし良き老化防止！



テニス同好会

世話人：益子淳 mashiko@teq-kobo.com

テニス同好会は現在 26 名。昭和 61 年から平成 3 年のバブル時代は、遊べ遊べの遠足時代でした。調布稲門会などと総勢 30 余名で埼玉県越生、八王子夕焼けテニスなど 1 泊遠足でテニスと飲み三昧でした。

バブル崩壊からは、安近短のコンパ時代でコンパのみ参加の方も増え、若かったメンバーも不況で仕事が忙しくなり、メンバー入れ替わりの時代でした。

平成 15 年ころからは現在のメンバーとなり、コート取り、会の運営を女性が引っ張る時代に入りました。最近では実力的にも男性と並びつつあり、女性主導時代が継続中です。尚、数年前から随時初心者講習会も行っています。初心者の方、遠慮無くご相談下さい。



ゴルフ同好会

世話人：河村秀昭 hdkm@jcom.home.ne.jp

4 月 5 日(木)武蔵野 CC に 17 名が集まり、春期ゴルフコンペが開催された。桜は葉桜になってしまったが、天候は良く爽やかな一日だった。優勝は河村(40 法)、準優勝は大塚宏君(37 経)、3 位深田清之君(38 商)が入った。紅一点の馬場敬子君(33 経)も奮戦した。

6 月 1 日(金)相武 CC で、稲門との懇親ゴルフを総勢 21 名で開催。石川博一君(41 経)がエイジシュートを達成。前半 37 と好調なスタート。後半昼食時の焼酎 2 杯が尾を引いたが、16 番チップインイーグルで盛り返し 38 で上がった。優勝石川君、2 位関利治君(38 経)、3 位大塚宏君(37 経)、4 位深田清之君(38 経)、5 位加地昌博君(34 経)と上位 5 位まで三田会が独占の快挙だった。



調布探訪③ —オリンピック in 調布—

2020 年東京オリンピック・パラリンピックまであと 2 年となりました。調布では、バドミントン、サッカー、ラグビー、近代五種(フェンシング、水泳、馬術、射撃、ランニング)、車いすバスケット、自転車ロードレースのスタート地点の 6 競技が行われます。地元でのなんとも贅沢で貴重な経験となりそうです。

調布は、1964 年東京オリンピックでも大きくかわりました。まずはアベベや円谷選手が駆け抜けたマラソンです。国立競技場から甲州街道をひた走り飛田給で折り返した 42.195 km、まさに調布市の端から端までを往復しました。味の素スタジアム前に昭和 40 年に造られた記念碑があります。平和の象徴ハトだそうです。裏面に「39 年 10 月 21 日第 18 回オリンピック東京大会 マラソン競技はこの地点で折り返した」と刻まれています。この先小金井街道との交差点手前には 50 km 競歩折返点の記念碑もあります。こちらにはもう少し気の利いた文句が刻まれています。

聖火リレーは 10 月 8 日雨の中で行われました。市内

の甲州街道を約 6 キロ 3 区間、マラソン折返し地点で府中市から受け継ぎ、電通大前、調布警察署前を経由して、仙川で三鷹市へ引き継ぎました。

YouTube の調布市公式動画サイトではマラソン、競歩、聖火の動画が 16 分半公開されています。当時の風俗や見物の姿など実に面白い。ぜひご覧ください。

もう一つかわりがあります。選手村となった代々木のワシントンハイツは調布基地の水耕農場に移転しました。そこが関東村と呼ばれるようになり、今「武蔵野の森スポーツプラザ」(写真右下)としてオリンピック会場になるのです。こんな歴史も面白いですね。



グルメの会

世話人：橋本定明 shasimo@jh.ejnet.ne.jp

[桜を見ながらの迎賓館見学とやきとり宮川のコース堪能で夢の 1 日を] の案内に誘われ、参加しました。

3 月 30 日は桜満開の好天にも恵まれました。

迎賓館は、東宮御所(皇太子の居所)として明治期の建築・美術会の総力を結集して建設された西洋風宮殿建設で、戦後、国に移管され、国会図書館として使用された時代もあり、ここで受験勉強をされた方もおられるようです。その後、大改修を経て、外国からの賓客を接遇するための施設として使われています。

当日は、春季で好天のため見学者が多く、入口で空港の搭乗ゲートさながらの手荷物検査・金属探知機でのチェックがあり、100 人以上が検査待ちで並んでいました。

中は、大ホールと広い洋間が四つあり、重厚なシャンデリア(すべてフランス製で最大 1125kg)・大理石の大円柱・壁面及び天井は大きな絵画が飾られ、圧倒されました。壁・カーテン・家具に触れることも写真撮影も禁止でした。1 か所だけ、「触ってみて下さい」と表示された絨緞が展示されていました。

本館見学後、主庭にある国宝の噴水の前で皆で記念写真を撮りました。

約 1 時間の見学後、やきとり宮川(創業 1949 年)へ。当方のメンバー 19 名の貸し切りで、前菜・6 種のヤキトリ・締めは雑炊・デザートに抹茶アイスのコース料理でした。ヤキトリは朝絞めた千葉産の鳥を味タレに漬け置きし、備長炭で焼いたものでした。これを肴に飲んだ熟成酒は大変美味でした。

美酒と共に、皆さんの声もだんだん大きくなり、楽しい歓談の場となり、正に夢の 1 日でした。

嵯峨吉雄(37 工)



音楽同好会

世話人：岸野千賀子 chikako_kishino@hotmail.com

4 月 22 日にサントリーホールで開催された World Peace Classic Concert は、リスト、バッハ、チャイコフスキーのいずれも「ピアノ協奏曲第 1 番」を演奏するという特徴的なもので、新田孝指揮の Nippon Symphony をバックに小林夏菜美、森岡薫、鷺宮美幸が熟演しました。さらにモーツァルトの「ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲」(寺沢希美と安達真理の掛け合いが見事)ほか 2 曲もあり、堪能しましたよ。よい音楽を聴くと何故かのどが渴くのは、私だけではないようで、渋谷の銀座ライオンで打ち上げをいたしました。
西村允(37 工)

春の多摩川クリーンアップ作戦

2018 年 4 月 8 日(日)



当日はここ数回の開催日の中で一番良いお天気で、風も無く、さりとて汗をかく程に暑くも無く、8 時~8 時 50 分の 50 分間、清掃作業が捗った。

冒頭、長友市長から、開会の辞があり、その中で、「今回は 39 年目、76 回目の開催となるが、皆様のお蔭で、この地域が、年々、綺麗になってきており、今後も、不法投棄やポイ捨てをする気が起きないぐらい、増々、綺麗にしていこうではありませんか」との話があった。確かに、ここ数回、参加している私もそうした実感を持った。しかし、パーベキューセットが使い捨てにされたような大きなものもあったし、沢山のゴミが積まれている。

今後も積極的に参加して、この地域を、多摩川一、綺麗な河川敷にしていきたいと思います。今回は、清掃作業が終わってから、調布稲門会の方 10 名と調布三田会 5 名で、近くの「カフェ大好き」でお茶会をして、お互いの近々の会合を紹介したり、近況を話したり、親睦を深めることができました。
高瀬一郎(53 商)

私の学生時代 川人武樹(29 工)

小金井校舎の思い出

私は徳島県立城南高校を卒業し昭和 25 年 4 月慶応義塾大学に入学しました。当時慶応義塾大学は校舎が三田と日吉と工学部が小金井にありました。初め一年間日吉で教養科目を学び、二年目に小金井に移りました。

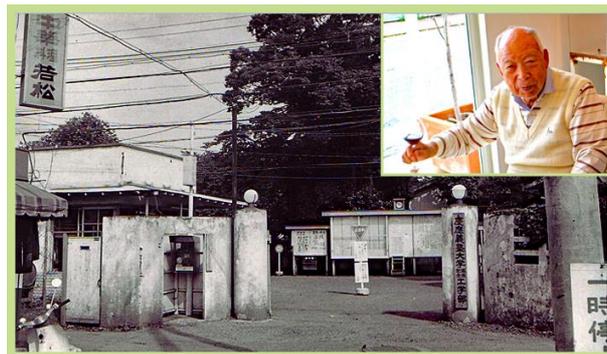
日吉の校舎は戦後アメリカ軍が使用していたかまぼこ型をした奇妙なものでしたがあまり違和感はありませんでした。小金井の校舎は駅から徒歩で 2~3 キロの多磨霊園の近くでした。バス停は前原にあり周りは畑しかなかったと思います。校舎は昔の工場を買収しそのまま利用した状況で一階建の木造の細長い建物が数棟ありました。

当時の工学部は電気工学、機械工学、化学工学の三つの学科で各定員は各 60 名程度だったと思います。私は藤原記念工学部機械工学科 12 期生として入学しました。当時の教授陣は東京大学などから招へいされた立派な陣容でした。私はガスタービンや空気力学が専門

の渡部教授のもとで空気圧縮機を使って超音速のジェットを研究しました。

学生のクラブ活動も熱心で自動車部、航空部、新聞部、スケート部などありました。

自動車部は企業からの寄付で三輪自動車とトラックがあり練習場は校内と隣の霊園でした。現在東八道路や自動車試験場が出来て当時の面影がないのが残念です。航空部は長野県霧ヶ峰高原でグライダーの練習をしていました。



小金井校舎写真出典：義塾理工学メディアセンターHP

お知らせ

● 今後の予定

- 9 月 23 日(日) 秋の音楽会
- 10 月 21 日(日) 連合三田会
- 11 月 11 日(日) 多摩川クリーン作戦
- 11 月 25 日(日) 野川クリーン作戦
- 12 月 2 日(日) 福祉バザー

※断捨離のチャンスです。

出品のご協力をよろしくお願いします。

- 2 月 2 日(土) 新年会

● 新入会員紹介(入会順：6 月以降)

櫻井茂正(60 経)、関秀一(58 商)

● 新入会員募集

お知合いの塾員に調布三田会への入会をお勧め下さい。

問い合わせ先・連絡先：

幹事長 田辺一男 090-3092-7048

● お詫びと訂正

第 39 号会報「蕎麦打ち同好会」の執筆者名が谷川伸司(H1 理院)となっておりましたが、正しくは石黒良昭(41 商)でした。ここにお詫びして訂正致します。

編集後記

岸野千賀子さんの会長就任にともない 40 号発行の 3 か月前に編集人が交代しました。

サッカーW杯では直前の監督交代にも拘らず沢山の感動をもたらしてくれました。

会報編集チームは“おっさん”どころか“ジーさん”登場です。どうなる事やら？

サポーター(会員)皆様の強力な応援なくては存続も危ぶまれます。何卒宜しくお願い申し上げます。

編集委員：

(編集人)石黒良昭(41 商)

(副編集長)米持一夫(55 経)

(委員)益子淳(43 法)、鈴木浩子(58 文)、

池田勝彦(59 文)、込山俊博(60 理工)、

上村美紀(H1 文)

(写真)寺川 毅(41 経)

(顧問)寺川徳子(40 文)

